

大上 充子 選

特選

そらまめはわたのふとんでならんでた

府中町立府中央小学校二年 岸本 大輝

【評】そらまめのさやをむいたときのかんどうと、しっかりものをかさつしているようすがよくでています。

別れ告ぐ古い校舎と散る桜

福山市立誠之中学校三年 山内 稟花

【評】卒業していくちよつと淋しい感情と古い学び舎に感謝している気持ちを上手に表わしている。季語が効いている。

祖母の手を引く側となり初詣

呉市立郷原中学校三年 山本 晴輝

【評】幼い頃は祖母に手を引かれての初詣。今は反対に祖母を守ってあげようという作者のやさしさが出ている作品。

初桜新たな扉切り開く

福山市立幸千中学校三年 高橋 慶志

【評】 ようやく咲き出した桜。作者に嬉しさと新しい希望が湧いて来た。中七の具象が意志の強さを表わしている。

風光る少しつづれた目玉焼き

県立尾道北高等学校一年 北口 美結

【評】 冬が過ぎて暖かくなる頃のきらきら輝く風。つづれた目玉焼きも何となく楽しく笑えるのも春の訪れを喜ぶ心の表れ。

入 選

七夕のささのきり口いい香り

庄原市立総領小学校五年 平山 暖人

ねる前のすず虫の声子守歌

廿日市市立佐方小学校五年 内田 瑛良

にじが出て暗い気分も晴れ晴れと

廿日市市立佐方小学校五年 車 昌悟

笑い声セミに負けない三姉弟

福山暁の星小学校五年 奥野 瑚子

こいのぼり風を仲間に行っているよ

大竹市立大竹小学校六年 佐々木陽真

ふうりん で風で作ろう音作ろ

坂町立横浜小学校三年 池田 風

ヒマワリは太陽の仮身真黄色

坂町立横浜小学校六年 宮崎 寛大

亡き祖父がまぶたに浮かぶところてん

庄原市立庄原中学校三年 近藤 美緒

せみの声色褪せていく時間かな

福山市立幸千中学校三年 竹縄 一煌

うたた寝の耳にコオロギ聞こえる

三次市立八次中学校三年 小野美紗貴

ベランダに一人ポツンと星涼し

福山市立幸千中学校三年 祝 歩花

わたあめと雲を重ねた夏の果

広島国際学院中学校三年 村上 絢音

イーゼルの冷えた教室筆にぎる

県立広島皆実高等学校一年 前田 美悠

膝の上香箱座りかじけ猫

県立尾道北高等学校一年 竹丸 未菜

袴着て暑さと戦い弓を引く

呉市立呉高等学校三年 松井 遥菜

夏が来る愛犬の毛が刈られてく

呉市立呉高等学校二年 江川 瑠那

的見つめ一射集中セミの声

呉市立呉高等学校二年 酒井 莉子

流星願いを言えず次を待つ

呉市立呉高等学校二年 中井 彩葉

部活動汗の分だけ強くなる

県立三原高等学校一年 加村 太獅

陽炎の立つグラウンドに我立ちぬ

県立三原高等学校二年 山本 大聖

大上 充子 選

特選

安産の札や牛舎に初燕

広島市 森本 弘子

【評】牛舎に安産の札を貼って出産を待ちわびている酪農家のやさしい気が伝わってくる。初燕が嬉しい。

蟬時雨框に憩ふ野良^の良着^の父母

広島市 末田 敦子

【評】上り框のある昔ながらの農家の生活。忙しい中での休憩の様子が、野良着のまゝと素直に描かれている。

をりからの雨に解けし踊の輪

福山市 折田耕四郎

【評】待ちに待った盆踊。空模様を気にしていたが、とうとう降り出した。中七の具象が良く出来て臨場感がある。

師の葬送茅花流しの風の中

廿日市市 辻 惠風

【評】 尊敬して止まない恩師の葬に参列した哀しさとこれまでの感謝を込めて静かに見送った。茅花流しが切ない。

うたた寝のいつしか掛けてある毛布

呉市 手納 正康

【評】 ちょっと横になっただけの間にか眠ってしまった。目覚めた時の様子と、家族のやさしさが伝わってくる佳句。

入
選

被災地に蛍の夜の戻り来し

福山市 高橋 泰子

瀧音に五感目覚むる心地して

広島市 徳毛 佳美

抱き上げて童にふつと母の香

福山市 瀬尾ちとみ

あいまいな相槌を打つ古団扇

福山市 栗本 リカ

ユーカーリの蹴けるさまに広島忌

広島市 森藤 千鶴

夕立やぶ濡れ走る反抗期

山県郡安芸太田町 浅田 洋子

放棄地に肩組む案山子残されし

尾道市 川口 靖文

挽ぎたての西瓜ぶらさげ友見舞ふ

広島市 天王 省治

手繰り寄す夢を編み込み毛糸玉

広島市 高木あい子

伏す母にただ絶えまなく団扇風

広島市 藤井知壽子

バス停に男もすなる日傘かな

広島市 小倉 伸也

叱られし子の水切りや風光る

福山市 池田 律子

借景に城を絡めて薔薇祭

福山市 浜本 直子

庭下駄の向きちぐはぐに時雨けり

廿日市市 斎藤 文子

花火屑拾ふ朝の浜辺かな

広島市 吉田紀久子

帰る子と黙つて歩く土用浪

福山市 津田 和敏

木場跡に潮のにはひや鳥渡る

広島市 藤谷 知子

念入りにフルート磨き卒業す

広島市 下田あつ子

クリムトの絵の妖光や瑠璃蜥蜴

呉市 植田トモ子

港町日焼け男の撥搦き

広島市 荻野りつ子